



3校合同「アユの稚魚放流体験」 5月11日（月）

5月11日月曜日に、沼田川堤防で、本郷沼田川漁協のみなさんにたくさんのことを教わりながら、「アユの稚魚放流体験」をしました。今年度は、統合に向け、北方小、南方小、船木小3校の3・4年生で放流しました。



大石さんが、児童代表のあいさつをしました。



バケツにたくさんの稚魚を入れてもらい、一人ひとり川に放流しました。



『カワウ』や『ブラックバス』『ブルーギル』は、アユをえさにして食べるそうです。少しでも多くのアユが生き延びることを望んで、アユを食べてしまう『カワウ』を追い払うために爆音機が使われます。アユを守るために漁協のみなさんを中心に日々取組まれています。

釣り人に対してもルールがあります。友釣り、網など期間が定められていて、アユがいなくなることを防いでいます。



滝広さんは、感想を述べ、テレビのインタビューもうけました。



○アユを放流するときバケツを見ると、アユがはねていたから、元気に育つかないと思いました。他の魚に食べられないで大きく育てほしい。

○アユがバケツの中でとびはねていて、元気がいいなと思いました。沼田川だけでなく、いろいろな川に魚がいて、そのお話を聞かせてもらったので、うれしかったです。

○バケツの中のアユはあばれて、元気だなと思いました。アユは、『カワウ』に食べられるので、ぼくは心配になりました。大きく育てほしいです。8月2日にアユつかみがあるので、ぼくは行こうと思います。

○バケツの中でアユは元気に泳いでいた。一つにかたまって泳いでいた。ほうりゅうした後、アユは、アユを追いかけていた。アユのてきを追いはらって、アユは元気に育てほしい。

○1年ぶりなのでとてもうきうきしました。アユに『ブラックバス』『ブルーギル』というてきがいることに気づきました。だから、『ブラックバス』は川に入れちゃあいけないんだなと思いました。

○アユをバケツいっぱい放流しました。私は放流するとき、「元気に育って帰ってきてね。」と思いながら放流しました。『カワウ』は1日に500gも食べるので、アユが食べられないといいなと思いました。

○階だんの岩にあたらないように放流しました。岩にあたるとけがをしたり、死んだりしてしまうかもしれないから気をつけて放流しました。『カワウ』『ブラックバス』『ブルーギル』がアユを食べることを知りました。「元気に育ってね。」とお願いしました。本当に元気に育ったらいいなと思いました。

○「カワウに食べられないように大きくなってね。」「元気に大きく育ってね。」と思いながらアユを流しました。鳥に食べられるのは、とてもかなしいです。北方小、南方小も喜んでくれたので、うれしかったです。

○バケツを持った時、すごくとんでいました。「みんな元気に育ってね。がんばってね。」と思いました。川で魚を見つけたら魚の図かんで調べたいです。

○バケツを持ったとき、すごくとんでいました。流すと、よく泳いでいました。アユは、『カワウ』などの鳥に食べられるので、わたしも鳥たちからアユを助けたいと思いました。今年は、3校合同でした。とうとうしても、またしたいです。